



バーチャル・ ライト・ブース



デザイン作成のデジタル化と製造プロセスの連結に伴い、最終製品の外観デザインを的確にバーチャル再現できるシステムがますます重要になってきています。これまでの CAD やバーチャル再現ソフトウェアでは、テクスチャ、光沢、透明性、隠ぺい力などの外観特性を緻密に再現することができませんでした。トータルアピアランス キャプチャ エコシステム、およびバーチャル・ライト・ブース (VLB) は、デジタル環境における基材の外観特性を忠実に測定・検証します。

バーチャル・ライト・ブースは、バーチャル環境のデジタル素材を評価したり、現物サンプルとデジタル素材を厳密に比較することが可能です。フェイストラッキングやオート・ステレオ スコピック ディスプレイなどの高度な技術を採用し、特殊ガラスが不要となる没入型のリアルタイム再現を実現。拡散とスポット照明により、角度によって外観が変動しやすいマテリアルも、徹底管理された環境において的確な目視評価を行います。実際の基材とバーチャル評価を行う、業界初の没入型バーチャル照明装置です。デザインコンセプトを最終製品に忠実に再現します。

- **現物サンプルとデジタル素材を厳密に比較**

搭載されたカメラベースのセンサー、分光測色計、色彩計により、的確なマテリアル再現と評価を行い、デザイン過程における一貫性と品質を維持します。

- **サンプルを正確な照明下において評価**

環境光の測定により、バーチャル・ライト・ブース周辺の光源（環境光）を補正。どんな環境においても正確に管理された照明条件を提供します。これにより、スポットと拡散光の条件に対しバーチャル素材と現物サンプルを調整、表示、比較する手間が省けます。

- **複数の角度から観察**

モーションセンサーとフェイストラッキング機能は、観察角度の変動に応じてバーチャル再現を調整。角度によって外観が変動する特殊顔料を使用したマテリアルも正確に評価します。

仕様

バーチャル・ライト・ブース

サイズおよび重量：	74 cm x 111 cm x 192 cm – 223 cm（高さ調整可能）、232.5 kg
SpectraLight QC 照明装置：	<ul style="list-style-type: none">半拡散の D65 昼光再現（フィルターを使用するタングステン技術を採用する高度な演色評価数、輝度：2000 lx ± 500 lx）、切り替え式D65 昼光スポット（LED 技術を採用した高度な演色評価数）、切り替え式モーター式の回転台と 3 つのサンプルホルダーを装備（速度と回転はタッチスクリーンから操作、同期化はバーチャルのサンプル台から実行）
バーチャル・ライト・ ブース搭載：	<ul style="list-style-type: none">エクスライト社の出荷状態におけるキャリブレーション、47" 高輝度 LCD ディスプレイ（5000 cd/m2）、ネイティブの解像度 1920 x 1080 ピクセル、10 bit の色階調エクスライト社の観察位置は、フィードバック式/リアルタイムのカラーマネージメントエンジンに依存X-Rite OpenGL リアルタイム再現エンジンは、サンプルホルダー、サンプル現物、カスタム .obj ワイヤーフレームモデル、AxF マテリアル（BTF、SVBRDF、CPA カーペイント）などを含むバーチャル回転台
ユーザー インターフェース：	<ul style="list-style-type: none">モーター式水圧による高さ調整機能で、観察エリアを調整搭載された 13.3 インチのタッチスクリーンで、装置と再現機能をユーザー制御PANTORA VLB ソフトウェア（1年間の単独使用ライセンス）で、再現シーンとマテリアルを設定（要 PC）
センサー & コントロール：	<ul style="list-style-type: none">本体とフェーストラッキング機能に対する、モーションコントローラー搭載システムキャリブレーション用の X-Rite i1Pro 2 分光測色計フィードバック式ディスプレイキャリブレーション用に搭載された X-Rite i1Display Pro 色彩計フィードバック式環境光の監視用に搭載された X-Rite i1Pro 2 分光測色計
PC&データ インターフェース：	<ul style="list-style-type: none">モーションコントローラー PC 搭載NVIDIA Quadro P5000 GPU の再現用 PC 搭載USB 2.0 インターフェース（前方）を i1Pro 2 分光測色計に接続し、システムのキャリブレーションを実行ギガビット・イーサネットのインターフェース（後方）を、PANTORA VLB ソフトウェアがインストールされた PC に接続
電源条件：	TAC-VLB-JP：100 VAC、12A、50/60 Hz TAC-VLB-US：120 VAC、12A、60 Hz TAC-VLB-EU：220~240 VAC、7A、50/60Hz
製品安全性：	cUL60950-1 修正条項1および2を含む IEC/EN60950-1 情報技術情報
EMC 規定：	FCC Part 15 IEC/EN55032 IEC/EN55024
操作温度/湿度：	10~35° 80% RH（結露なし）
保存温度/湿度：	-20~60°
出荷サイズ/重量：	108 cm x 130 cm x 196 cm、363 kg

TACエコシステム：使用法

TAC7 スキャナーを使用し、現物サンプルを多数の照明下においてスキャンします。現物サンプルと同一の光沢特性を表すデジタル再現データが、AxF ファイル（アピアランス・エクスチェンジ・フォーマット）に出力されます。マテリアルのスキャンデータは、バーチャル・ライト・ブース内で現物サンプルと比較でき、また製品の形状や 3D モデルにバーチャル再現が可能となります。

一般的なワークフロー：

- 現物サンプルを測定し（TAC7 スキャナーを使用）、緻密なデジタル素材データを、全サプライヤーに共通する AxF 形式で作成。
- X-Rite Pantora デジタル素材ハブに保存・管理された AxF ファイルは、サードパーティの 3D システムのプラグインで使用可能。
- 複数の照明条件下においてデジタル素材を選択/検証/比較。品質管理などの用途で最終デザインの決定や、現物サンプルとデジタル素材を比較。最終製品を的確に再現する 3D データを、異なる照明下において評価。



エクスライト社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンター 西館 6F

Tel: 03-5579-6545 Fax: 03-5579-6547

<http://www.xrite.co.jp>

L10-560-JA (2018年8月)

■ お求め、ご相談は